

校長室の窓

平成28年9月1日
第10号

こころのメダル

～ 2学期始業式講話 ～

おはようございます。こうして、正則の子全員が元気よく、2学期始業式を迎えられたことをとてもうれしく思います。楽しい夏休みを過ごすことができましたか。

夏休みにもかかわらず、暑い中練習をしてくれた金管部のみなさん、ご苦労さまでした。本番までまだまだ厳しい練習が続きます。体に気をつけてもうしばらくがんばってくださいね。もうひとつ、交代でウサギの世話をしてくれた飼育員のみなさん、ウサギが今日も元気なのはみなさんのおかげです。ありがとうございました。

夏休み一番のニュースは、やはりオリンピックでの日本人選手の活躍だと思います。たくさんの選手がメダルを取ったことを、テレビで華々しく映していました。選手たちの戦いを毎晩遅くまで応援していて、寝不足になった子はいませんか。もちろんメダルを取った選手たちはすばらしいのですが、メダルが取れなくても最後までがんばった選手たちの涙に、たくさんの感動をいただきました。選手たちはオリンピックに出るまでどれほど努力したのでしょうか。そして、姿は見えませんが、死ぬほどの練習を重ねても出場を逃した人たち、オリンピックを成功させるためにいろいろなお手伝いをした人たちも、たくさんいたことでしょう。そのすべての人たちのがんばりに、心のメダルをさしあげたい気持ちになりました。

2学期は、運動会、学芸会など、みなさんが主役となって活躍する行事があります。そして、高学年、特に6年生のみなさんは、行事を支える大切な役割があります。ひとりひとりが心のメダルを目指して、がんばっていきましょう。

リオオリンピックの最年少選手は、13歳のネパールの少女だそうです。4年後の東京オリンピックでは、もしかしたら、みなさんの中の誰かが心のメダルをとっているかもしれませんね。

最後に、28日に放映されたNHK「真田丸」の「真田丸紀行」に映ったみなさん、おめでとう。ついにテレビデビューですね。みなさんは正則小の代表です。福島正則公のおかげで、全国の家庭に顔が広まりました。ところで、この中で正則公のことをよく知っている子はどれぐらいいるのでしょうか。本校は「正則」の名をいただいているのですから、これからもう少し正則さんのことを勉強していきましょうね。

校長の夏休み…正則公最期の地、長野県高山村高井(こうせい)寺に行き、ご住職小野沢さんにお話を聞きました。高井寺にあった正則公の肖像画(掛け軸)です。近くにあった、正則公の茶毘(だび)所跡も見学しました。後日報告します。

